

日本天文学会 1967年春季年会 プログラム

◇日時 昭和42年5月10日(水), 11日(木), 12日(金)

◇場所 東京都文京区東京大学理学部2号館

5月10日(水)					
9 ^h	12 ^h	13 ^h	17 ^h	18 ^h	20 ^h
講	演	評議員会	講	演	懇親会

5月11日(木)					
講	演	総会	講	演	

5月12日(金)					
講	演	理事会	講	演	

★ 講演申込がかなり多くなり、時間割りはいつもより窮屈になっておりますので、講演者は、**時間厳守**に御協力をお願いします。またお申込みの所要時間を減らしたのがあります。御諒承下さい。

★ 10日正午より評議員会、11日11時半より総会、12日正午より理事会を開催します。

講演予稿集について：特別会員には1部ずつ無料で配布しますが、その他の方および特別会員で2部以上希望される方は1部につき送料とも100円をお送り下さい。年会の当日会場でもおわけします。

第1日 5月10日(水)

[午前] (9時より)

分

1. 切田正実(緯度観測所): 地球自転速度の変化と周極渦との関係……………10
2. 切田正実(緯度観測所): 周極渦と水沢の緯度観測……………10
3. 須川力, 北郷拓(緯度観測所): V Z TとF Z Tの完全比較(1964—1966)……………10
4. 弓滋, 若生康二郎(緯度観測所) 観測地点の局地的移動と平均極の永年変化……………10
5. 後藤進, 高橋久太郎, 佐々木恒(緯度観測所): 星のセンチレーションについて
(II)……………10
6. 古川麒一郎(緯度観測所): F Z T赤緯体系と基本系の関係(III)……………10
7. 須川力, 古川麒一郎, 大川泰(緯度観測所): 電子計算機によるF Z TのFK 4
星観測プログラムの選択……………10
8. 高木重次(緯度観測所): コントロール・ラチチュード法による極運動の解析……………10
9. 高木重次(緯度観測所): 緯度観測及び時刻観測の相関性について……………10
10. 飯島重孝, 新美幸夫(東京天文台): P Z T観測結果より求めた地球潮汐の短周
期項(I)……………7
11. 飯島重孝, 虎尾三春(東京天文台): V L F波伝播の実効反射高の実験式……………10
12. 岡崎清市, 名阪満津子(東京天文台): 時刻観測による局地誤差の特性(I)……………10
13. 古川麒一郎, 横山紘一(緯度観測所): アストロラーブによる惑星の観測(I)……………10
14. 伊奈辰之(東京天文台): 子午環観測室内外気温差と異常屈折……………5
15. 石川栄助(岩手大): 木村項の統計的意味……………10

[午後] (1時より)

16. 中矢行義(順天堂大): 中心線がほぼ平行な一対の日食……………10
17. 井上猛(京都産業大): 中間軌道の方法による近似理論について……………10
18. 古在由秀(東京天文台): 月衛星の運動……………10
19. 堀源一郎(東大理): 調和振動の非線型カップリング……………10
20. 木下宙(東大理): 半長径と離心率に secular 誤差がない新積分公式について……………10
21. 木下宙(東大理): 球対称物体のまわりの軸対称物体の運動の定常解とその安定
性……………10
22. 秋山薫(法政大): ヒルダ群小惑星の運動(V)……………8
23. 堀源一郎(東大理): 銀河面星の運動……………10

24. 堀源一郎 (東大理) : ボーデの法則の力学的意義	10
25. 畑中至純 (東京天文台) : 土星の衛星の観測	5
26. 関口直甫 (東京天文台) : 環消失期の土星観測	10
27. 劉彩品 (東大理) : 新しい銀河系のモデルを用いた掘のポテンシャルの改良	7
28. 劉彩品 (東大理) : 高速度星に見られる初期値の特徴とそれの球状星団への応用	10
29. 北村静一 (大阪府科学教育センター) : Galaxy 内の Stellar Group の速度	10
30. 佐藤文男 (東大理) : Type II Supernova Remnants の距離	8
31. 石田蕙一, 川尻轟大*, 大橋満 (東京天文台, *郵政省電波研) : H II 領域 W 3, W 4 の H α 線絶対強度分布の決定	7
32. 川尻轟大, 赤羽賢司* (郵政省電波研, *東京天文台) : H II 領域の Morphological Study	10
33. 山下崇, 渡辺堯*(名大空電研, *京大理) : 9.4 G c/sにおける宇宙電波の観測(II)	7
34. 佐藤文男 (東大理) : "Maryland-Green Bank Galactic 21-cm Line Survey" (1st ed.) の解析 I, Galactic discrete source の距離	10
35. 佐藤文男 (東大理) : "Maryland-Green Bank Galactic 21-cm Line Survey" (1st ed.) の解析 II, Discrete sources の absorption profiles (I)	10
36. 磯部瑠三 (東大理) : Orion Cloud Model	10
37. 木村博 (東大教養) : 星間塵による X線散乱	10
38. 宮本昌典 (東京天文台) : Rotating Rings の強制振動	10

第2日 5月11日(木)

[午前] (9時より)	分
39. 松丸勝 (防衛大) : Videospectroheliograph の概要 (その4)	7
40. 山口七郎 (岐阜大工) : 太陽外層の対流について	10
41. 田中捷雄 (東大理) : Self-reversed line と大気構造の関係	10
42. 神野光男 (花山天文台) : 上部彩層の物理的状態について	10
43. 西恵三 (東京天文台) : 太陽紫外連続スペクトルのエネルギー分布と周縁効果に ついて	7
44. 久保田諱, 椿都生夫* (花山天文台, *大分大教育) : Corona の Arch Structure について	10
45. 大脇直明, 齊藤国治* (水路部, *東京天文台) : ニューギニア日食コロナの回転 セクトル観測	10

46. 日江井栄二郎, 平山淳 (東京天文台) : ペルー日食フラッシュ・スペクトル(I), 器械について…………… 8
47. 日江井栄二郎, 平山淳 (東京天文台) : ペルー日食フラッシュ・スペクトル(II), スペクトルについて…………… 8
48. 齊藤国治, 秦 茂 (東京天文台) : 1966年11月12日ペルー日食観測の予備報告……………10
49. 桜井邦朋 (京大工) : 太陽活動サイクルと太陽活動領域……………10
50. 土屋淳, 辻村民*, 柿沼隆清**, 鰺目信三** (東京天文台, *京大生駒山観測所, **名大空電研) : 太陽活動領域の電波および光学特性について……………10

〔午後〕 (1時より)

51. 長根潔, 高倉達雄, 能登谷直邦 (東京天文台) : ディック変調方式動スペクトル観測装置およびその観測例について…………… 7
52. 渋谷暢孝, 甲斐敬造 (東京天文台) : 69, 160 MHz 干渉計による太陽電波フラックスの絶対測定…………… 7
53. 甲斐敬造, 長根潔, 塩見靖彦 (東京天文台) : 波長 1.8 cm における静かな太陽の輝度分布……………10
54. 土屋淳, 高橋耕三* (東京天文台, *郵政省電波研) : ミリメートル波領域におけるS成分のスペクトル……………10
55. 高倉達雄 (東京天文台) : ノイズストームの発生と黒点の成長の関係…………… 7
56. 鰺目信三, 柿沼隆清 (名大空電研) : マイクロ波バーストを起す高速電子の輻射損について……………10
57. 鳴海泰典 (花山天文台) : 火星大気における温度の垂直分布について…………… 7
58. 平山淳, 守山史生 (東京天文台) : イケヤ・セキ彗星の尾について…………… 8
59. 古畑正秋, 齋藤馨児 (東京天文台) : 黄道光中心線の観測…………… 7
60. 田鍋浩義, 古畑正秋 (東京天文台) : ロケットによる黄道光輝度観測…………… 7
61. Michael Wolf, 富田弘一郎* (スミソニアン天文台, *東京天文台) : Intelsat II号による第4段ロケット噴射の写真(I)……………10
62. 早川幸男, 松本敏雄, 松岡勝, 水野孝雄, 奥田治之, 杉本大一郎 (名大理) : 赤外線による天体観測……………10
63. 早川幸男, 松本敏雄, 水野孝雄, 杉本大一郎 (名大理) : 赤外線による月の観測……………10
64. 宮本正太郎 (花山天文台) : 月地史における周期性について…………… 8
65. 石田蕙一 (東京天文台) : 池谷・関彗星の核について…………… 5

24. 堀源一郎 (東大理) : ボーデの法則の力学的意義	10
25. 畑中至純 (東京天文台) : 土星の衛星の観測	5
26. 関口直甫 (東京天文台) : 環消失期の土星観測	10
27. 劉彩品 (東大理) : 新しい銀河系のモデルを用いた堀のポテンシャルの改良	7
28. 劉彩品 (東大理) : 高速度星に見られる初期値の特徴とそれの球状星団への応用	10
29. 北村静一 (大阪府科学教育センター) : Galaxy 内の Stellar Group の速度	10
30. 佐藤文男 (東大理) : Type II Supernova Remnants の距離	8
31. 石田薫一, 川尻轟大*, 大橋満 (東京天文台, *郵政省電波研) : H II 領域 W 3, W 4 の H α 線絶対強度分布の決定	7
32. 川尻轟大, 赤羽賢司* (郵政省電波研, *東京天文台) : H II 領域の Morphological Study	10
33. 山下崇, 渡辺亮*(名大空電研, *京大理) : 9.4 G c/sにおける宇宙電波の観測(II)	7
34. 佐藤文男 (東大理) : "Maryland-Green Bank Galactic 21-cm Line Survey" (1st ed.) の解析 I, Galactic discrete source の距離	10
35. 佐藤文男 (東大理) : "Maryland-Green Bank Galactic 21-cm Line Survey" (1st ed.) の解析 II, Discrete sources の absorption profiles (I)	10
36. 磯部瑠三 (東大理) : Orion Cloud Model	10
37. 木村博 (東大教養) : 星間塵による X線散乱	10
38. 宮本昌典 (東京天文台) : Rotating Rings の強制振動	10

第2日 5月11日(木)

[午前] (9時より)	分
39. 松丸勝 (防衛大) : Videospectrohelioscope の概要 (その4)	7
40. 山口七郎 (岐阜大工) : 太陽外層の対流について	10
41. 田中捷雄 (東大理) : Self-reversed line と大気構造の関係	10
42. 神野光男 (花山天文台) : 上部彩層の物理的状態について	10
43. 西恵三 (東京天文台) : 太陽紫外連続スペクトルのエネルギー分布と周縁効果について	7
44. 久保田諒, 椿都生夫* (花山天文台, *大分大教育) : Corona の Arch Structure について	10
45. 大脇直明, 齊藤国治* (水路部, *東京天文台) : ニューギニア日食コロナの回転セクトル観測	10

46. 日江井榮二郎, 平山淳 (東京天文台) : ペルー日食フラッシュ・スペクトル(I), 器械について…………… 8
47. 日江井榮二郎, 平山淳 (東京天文台) : ペルー日食フラッシュ・スペクトル(II), スペクトルについて…………… 8
48. 斎藤国治, 秦 茂 (東京天文台) : 1966年11月12日ペルー日食観測の予備報告……………10
49. 桜井邦朋 (京大工) : 太陽活動サイクルと太陽活動領域……………10
50. 土屋淳, 辻村民之*, 柿沼隆清**, 鰐目信三** (東京天文台, *京大生駒山観測所, **名大空電研) : 太陽活動領域の電波および光学特性について……………10

〔午後〕 (1時より)

51. 長根潔, 高倉達雄, 能登谷直邦 (東京天文台) : ディック変調方式動スペクトル観測装置およびその観測例について…………… 7
52. 渋谷暢孝, 甲斐敬造 (東京天文台) : 69, 160 MHz 干渉計による太陽電波フラックスの絶対測定…………… 7
53. 甲斐敬造, 長根潔, 塩見靖彦 (東京天文台) : 波長 1.8 cm における静かな太陽の輝度分布……………10
54. 土屋淳, 高橋耕三* (東京天文台, *郵政省電波研) : ミリメートル波領域におけるS成分のスペクトル……………10
55. 高倉達雄 (東京天文台) : ノイズストームの発生と黒点の成長の関係…………… 7
56. 鰐目信三, 柿沼隆清 (名大空電研) : マイクロ波バーストを起す高速電子の輻射損について……………10
57. 鳴海泰典 (花山天文台) : 火星大気における温度の垂直分布について…………… 7
58. 平山淳, 守山史生 (東京天文台) : イケヤ・セキ彗星の尾について…………… 8
59. 古畑正秋, 斎藤馨児 (東京天文台) : 黄道光中心線の観測…………… 7
60. 田鍋浩義, 古畑正秋 (東京天文台) : ロケットによる黄道光輝度観測…………… 7
61. Michael Wolf, 冨田弘一郎* (スミソニアン天文台, *東京天文台) : Intelsat II号による第4段ロケット噴射の写真(I)……………10
62. 早川幸男, 松本敏雄, 松岡勝, 水野孝雄, 奥田治之, 杉本大一郎 (名大理) : 赤外線による天体観測……………10
63. 早川幸男, 松本敏雄, 水野孝雄, 杉本大一郎 (名大理) : 赤外線による月の観測……………10
64. 宮本正太郎 (花山天文台) : 月地史における周期性について…………… 8
65. 石田薫一 (東京天文台) : 池谷・関彗星の核について…………… 5

【特別講演】

天文学将来計画について……………古畑正秋 他

第3日 5月12日(金)

〔午前〕(9時より)

分

- 66. 上杉明, 福田一郎(京大理): 恒星の自転速度について…………… 7
- 67. 北村正利(東京天文台): 近接連星の成分星のUBV Colors……………10
- 68. 佐藤弘一(東大理): 食変光星 R CMa について……………10
- 69. 田村真一(東北大理): 惑星状星雲の電子温度について…………… 7
- 70. 上杉明, 平田竜幸(京大理): Balmer Decrements (II)……………10
- 71. 末元善三郎(東大理): 星のHK線の輪廓について……………10
- 72. 佐藤文男(東大理): HII 領域の中心星の観測(I), IC 1795(1)……………10
- 73. 小平桂一(東京天文台): λ Boo 型星の大気中の酸素量…………… 7
- 74. 小平桂一(東京天文台): シリウス伴星のスペクトル……………10
- 75. 菊池仙(東大理): β Orionis の大気構造(II), スペクトルの時間変化……………10
- 76. 近藤雅之(東京天文台): 63 Tauri のスペクトル……………10
- 77. 成相恭二(東京天文台): A型特異星におけるマンガンの量…………… 5
- 78. 前原英夫(東大理): γ Cygni の赤外域スペクトル……………10
- 79. 藤田良雄(東大理): 炭素星の分類における CN Red System の考察……………10
- 80. 山下泰正, 内海和彦*(東大理, *東京学芸大): 炭素星スペクトルのメリル・サ
ンフォード・バンドについて……………10

〔午後〕(1時より)

- 81. 渡辺堯, 大谷浩, 岡祥三郎(京大理): オリオン座大星雲の中に発見された衝撃
波面…………… 5
- 82. 大野陽朗, 山崎初男*, 橋本喜明** (北大理, *北大工, **弘前大理): 不均質プ
ラズマ中の Hydromagnetic Shock の伝播……………10
- 83. 大木健一郎(東大理): 電磁流体波による荷電粒子の加速……………10
- 84. 大谷浩(京大理): 高速陽子によるカニ星雲のフィラメントの加熱……………10
- 85. 佐藤順子(室蘭工大): Ionization Front の安定性について……………10
- 86. 上野季夫(京大理): 輻射源泉を有する球殻大気による光の強度分布……………10

87. 辻田 丞治 (京大理, 大阪府大) : 非均質円筒領域による diffuse reflection process	10
88. 松本雅道 (舞鶴高専) : 時間依存の輻射場における Duhamel の原理	10
89. 下小田博 (愛知教育大) : 熱力学的非平衡状態に対する熱力学的確率について	8
90. 大野陽朗, 原田充彦 (北大理) : Turbulent Convection について	10
91. 加藤正二, 成相秀一*, 富田憲二 (東大理, *広島大理論物理研) : 膨張宇宙における熱不安定性	10
92. 加藤正二 (東大理) : 膨張宇宙における流体力学の方程式	8
93. 近藤正明 (東大理) : 媒質中における円筒系の振動モード	10
94. 岡本 功 (東大理) : 不連続面の安定性	10
95. 岡本 功 (東大理) : Pre-main Sequence Stars の脈動 (II)	10
96. 海野和二郎, 岡本功 (東大理) : 脈動星に対する一層モデルの適用範囲について	10
97. 浅野功義, 杉本大一郎 (名大理) : 進化の進んだ星の核における不安定性	10
98. 海野和二郎, 加藤正二, 山崎篤磨 (東大理) : 殻源モデルの熱不安定性	10
99. 内田寿一, 須田和男*, 一柳寿一* (東北学院大工, *東北大理) : 星のモデルの自動計算プログラミング(中間報告)	10
100. 尾崎洋二 (東大理) : 近接連星のモデル	10
101. 小田 稔 (東大宇宙航空研) : かに星雲の X 線源について	7